

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和2年 3月 10日

公表:令和2年 3月 31日

事業所名:児童デイサービス・アニマートさのstudy

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	個別・集団・交流活動のスペースと分けて活用した。	保護者様から狭いというお話があったので、スペースをより有効に使えるように工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切である	8	0	法令通りの人員配置になっている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	4	車椅子利用の方のためにリースでトイレの手摺を設置した。	車椅子ご利用の方の手摺について使いづらいというお話が保護者様からあったので、バリアフリーについてのご理解がいただけるよう努めます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0		所長を中心に事業の業務改善を図れるように広く職員間で目標設定と振り返りを行っていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0		保護者様にいただいたアンケート結果に真摯に向き合い、業務改善を行っていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0		各種検査による実態把握をしたうえで、ニーズや課題を分析し計画を立てていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0		職員間の資質の向上のため、研修の機会を設けたりケース会議を重ねたりして資質の向上を図っていきます。
適切な支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	全職員が計画立案に関わるようにしている。	Wisc-IVを中心としたテストバッテリーによる実態把握と保護者様やお子様のニーズを客観的に分析し、お子様にとってよりよい放課後等デイサービス計画を作成していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	WISC-4を中心にテストバッテリーを組み、利用者様の実態把握をすることに努めている。	諸検査を実施した後、保護者様に丁寧に説明させていただいております。そして、お子様の実態や今後の支援の方針について共通理解をさせていただけるように努めていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	週単位で主担当者を決め、アニマートタイムの活動内容を変えている。	アニマートタイムについては、職員が意見を出し合いより楽しいそして有益な活動になるよう今後も立案をチームで行っていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	学習、言語活動、SST・おやつと個別支援と集団活動を日々組み合わせている。	お子様の成長にとって必要だと思われること(学習やソーシャルスキルや言語活動や漢字学習など)をお子様楽しく学習できるよう今後も工夫していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	0	長期休業中は、体験・制作・音楽・言語活動を取り入れている。	平日・長期休暇にそれぞれに応じて活動内容にメリハリをつける事で、お子様がより充実した活動ができよう課題を今後もきめ細やかに設定していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0		個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで、お子様が自己実現の機会を得ることができたり達成感を得られたりできるように今後も工夫していきます。

の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	連絡ノートを活用し、職員間の情報の共有化を図っている。楽しく活動でき、更に学びにつながる活動を考えている。	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、各自の役割分担についてまたお子様の様子についての共通理解を図ります。今後もよりお子様に沿った支援が行えるように努めます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	ご利用者様に配慮すべきことや保護者様からの情報は、連絡ノートに記録し全職員に周知を図っている。	支援終了後には、職員間で振り返りを行い、次回配慮を要することや気を付ける点などについて共通理解をし、より良いサービスが提供できるように努めます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	支援記録はできる限り当日に書き、次の支援に繋げている。	支援の検証並びに改善につながるように日々の記録を丁寧にとることで、よりお子様に寄り添った支援ができるよう努めます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	相談支援事業所とも定期的に連携を図り、計画の見直しをしている。	相談支援事業所とは、定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを行っています。今後も相談支援事業所と連絡を密にとり、計画の見直しを行っていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8	0		ガイドラインにおける療育などの基本活動を複数組み合わせ、障害による学習面や生活面での困難を克服できるように支援に努めます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	児童発達管理責任者が参加した。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0		教頭を通して学校との情報交換を行い、円滑な支援活動やお子様の送迎ができるよう努めます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	0		今後も小児科医の柳川先生・岡田先生の指示を仰ぎながら受け入れ体制を更に整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	2		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	7	宇都宮サポートセンターとの連携を図っている。	児童発達支援センター(宇都宮サポートセンター)と連携を図り、必要に応じて助言や指導をいただけるような関係づくりを構築していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	6		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	8		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0		保護者様のアンケートからもお子様についての共通理解が不十分な面をご指摘いただきました。その事実を真摯に受け止め、なお一層お子様についての共通理解に努めます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	0		臨床発達心理士・認定カウンセラーが常駐しているので対応・支援していきます。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0		契約時に保護者様にご理解いただけるように今後も丁寧な説明をします。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	認定カウンセラー・臨床発達心理士・特別支援教育士が対応し、支援・助言を行っている。	保護者様が子育てに関する悩み等を相談できる場としての事業所内相談支援事業をご利用いただけるよう広報に努めます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	0	保護者会は、好評だったので内容を検討し、更に魅力のあるものにしていきたい。	次年度も6月頃保護者会を実施する予定です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0		保護者様の苦情については、迅速かつ適切に対応します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	4	現在、定期的な発行を考えているところである。	定期的なお便りについては検討しているところです。
	35	個人情報に十分注意している	8	0		今後も個人情報には十分配慮し、守秘義務を全うできるように努めます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	1	利用者様以外にも、午前中開放しコミュニティの場として活用していただいたこともあった。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0	感染症については職員・保護者ともに注意喚起を徹底した。	今後も各種マニュアルについて、職員はもちろんのこと保護者様に周知していただけるよう努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	火災時の避難訓練は実施したが、地震・不審者に対する避難訓練の実施も検討している。	年1回は消防署職員に指導を仰ぎ避難訓練を実施します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0		虐待防止に関する研修会には全職員が年一回は参加し適切な対応ができるよう努めます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0		今後もお子様のアレルギーの実態の把握に努めます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	0	8	本事業所に合った独自のヒヤリハット事例集を作成していきたい。	職員のヒヤリハットに対する感覚を養う必要があるので、情報や事例から学んでいきます。